平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470801208	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	社会福祉法人横浜長寿会			
事業所名	グループホームぬくもりの家・金沢文庫			
所在地	(236-0014) 横浜市金沢区寺前2-23-35			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月5日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月31日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1470801208&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「金沢文庫」で有名な称名寺に近い、温かみのある伝統的な住宅地に位置しています。「ゆっくり・ゆったり・私らしく」を理念に置き、お一人お1人が自分らしさや誇りを持ちながら、「ほっ」と安心でき、人のぬくもりを感じながら生活していただけるよう、スタッフ一同、心をこめてサービスを提供しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケ'ダブルファースト 3階		
訪問調査日	平成22年3月8日	評価機関 評価決定日	平成22年5月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホームぬくもりの家・金沢文庫は、京急金沢文庫から徒歩15分の住宅地にある1ユニットのホームです。ホームの特徴は利用者一人一人が地域の中で生活する自己実現の場となっています。利用者はそれぞれの役割を喜々としてこなし、職員や地域の力を借りて明るい表情と雰囲気となっています。自治会からの回覧版や地元に住む職員などからの地域情報を得て、地域とのふれあいや交流の場を持っています。近くの公園のお祭り、小学校の運動会、毎月開催される地域高齢者の「ふれあいサロン」、保育園のひな祭りに参加しています。自治会のイベントへの誘い、外出時に雨に降られると傘を貸してもらうなど地域からの温かい声援を頂いています。ホームの運営は、上下の意思疎通、管理者の職員への気配り、分かりやすく整理されたケアプランや記録などでスムーズに行われています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームめくもりの家・金沢文庫
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらい
			3. 利用者の1/3くらい
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>会議の場で理念の確認を図ると共に、日々のサービス提供時にも、“ゆっくり・ゆったり・私らしく”の言葉を声にしなが、実践につなげています。</p>	<p>職員は、グループホームの意義を良く理解している管理者の下、開所当時、全員でつくり上げた理念を共有し、実際のケアに活かしています。また、理念の実践について定例の会議でも話し合われています。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入し、地域の高齢者の集まりに声をかけてもらい参加したり、地域行事にも出かけています。また、毎日の散歩や買い物で地域の方達とも顔見知りの関係が出来ています。</p>	<p>自治会の回覧板や地元に住む職員などから地域情報を得ています。毎月開催される地域高齢者の「ふれあいサロン」に参加したり、保育園のひな祭りに参加するなど、地域とのふれ合い・交流の場をもっています。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の行事への参加や日常生活の中での地域の方々との自然なふれあいを通し、認知症の方々の理解を得ていただけるよう取り組んでいます。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については、まだ開催しておらず、現在準備中です。</p>	<p>運営推進会議については、毎年計画を立てているものの実施には至っていません。</p>	<p>地域の理解と支援を更に得るためにも、H22年度は確実に実施していくことが期待されます。</p>
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市町村から案内のあった研修に参加をしたり、区の担当ケースワーカーへご利用者の予後様子を報告、アドバイスをいただきながら関係を築くように努めています。</p>	<p>区の生保担当や地区担当のケースワーカーとは折に触れコミュニケーションをとり、事業所や利用者の報告をしたり、相談やアドバイスをもらうなどの関係を築いています。行政から案内のある各種研修会に参加しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>変わっていく御利用者の様子を職員が情報を共有し、検討ながら、閉塞感のない、安全な暮らしを続けていただけるよう取り組んでいます。</p>	<p>管理者や職員は身体拘束をしないケアを実践しています。外玄関は手動、内玄関はリモコン操作による開閉になっており、施錠の状態にはありません。</p>	<p>身体拘束をしないケアを実践していますが、「禁止の対象となる具体的な行為」などを含めた正しい理解を深めて行くためにも、身体拘束ケアマニュアルの整備と研修を実施されることが期待されます。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>言葉の暴力等も含め会議の中で話し合う機会を持ちながら防止に努めるとともに、市より配布されたパンフレットを閲覧し、啓蒙に努めています。</p>	/	/	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部の研修に参加し、学ぶ機会を設け、理解し、必要に応じ支援につなげていけるよう努めています。</p>	/	/	
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に契約内容や重要事項についての説明を行い、御家族、御利用者の入居に対する心配な点や不安なこと、要望等お聞きしながら、安心して入居していただけるようしています。</p>	/	/	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族来訪時の声かけやお手紙により、意見・要望・苦情等何でも伝えていただけるよう働きかけています。また、日常の会話の中で御利用者の意見・要望等職員が聞き漏らさないようにし、それらを会議の中で話し合い、サービスへとつなげています。</p>	<p>家族の来訪時に、管理者が利用者の近況報告をする中で、意見や要望、苦情を聞くようにしています。管理者が不在の時は職員が代わって行い、家族から意見や要望などがあった場合は必ず記録し、管理者に伝え解決を図るようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の前に職員より意見を募り、話し合う場を設けたり、意見の内容によって法人事業本部へ現場の声としてもって行き、組織的な実行・実現へつなげていけるよう取り組んでいます。	管理者は、職員から信頼されています。職員からの意見や要望に迅速に対応すると共に職員の思っている事に絶えず気を配っています。職員からの意見・要望に対し管理者で解決できないものは本社に上げて対応しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人の中に人材育成推進委員会を設け、働きやすい職場、育成成長できる職場、やりがいを感じられる職場を目指し取り組んでいます。その中で、介護報酬上の問題もあり、厳しい経営状況ですが、給与待遇条件や労働時間等労働環境にも十分な配慮をし、より良いサービスを提供できるよう努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の案内を閲覧し、希望する職員に参加してもらったり、適切な職員に参加の声かけを行うとともに、法人内に人材育成推進委員会を設置運営し、職員が育成成長できる職場となれるよう取り組んでいます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市のグループホーム連絡会に加入し、研修を通し情報交換を行い、サービスの質を向上させていくよう取り組んでいます。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や面接時に御本人の思いを知り、不安や戸惑いを和らげていただけるよう努めるとともに、安心して生活を始めていただけるよう、何でも話せる雰囲気をつくるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	連絡を密にし、御家族の不安・悩みを受け止め、御本人との関係を築くことで安心感を持っていただけるよう努めています。			
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に御本人や御家族の要望、生活習慣、趣味、嗜好等伺い、必要なサービスを受けられるよう、職員が情報を共有しながら対応に努めています。			
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々のそれまでの人生で培ってきたものを大切にしながら、出来ることを協力していただきながら、聴きながら行い、感謝の気持ちを伝え、共に暮らす関係を築いていけるようにしています。			
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御本人の御様子をこまめにお伝えし、御家族のお話にも耳を傾け、協力しながら御本人の生活を支えていけるような関係作りを行っています。			
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御友人が気持ちよく来訪していただけるよう努めています。また、電話の取次ぎでは、お部屋でゆっくりとお話していただけるよう配慮しています。	訪問者が毎日のようにあります。馴染みの美容院にも出かけています。電話の取り継ぎはもとより、自室で携帯電話を使う利用者もいます。歌の好きな方は口ずさみ、昔を思い出しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者同士の会話の行き違いや関係がギクシャクするようなどときには職員がそれとなく間に入ったり、気分を変えていただけるよう支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御利用が終わった後も電話相談や、街でお会いしたときには御様子をお聞きする等経過をフォローする等努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の会話や表情等から御本人の思いや要望を汲み取り、申し送りや会議の中で話し合い、できる限り御本人の御希望に沿った暮らしを送っていただけるよう支援しています。	入居時に希望や要望と生活状態を把握しています。その後は日頃の会話や表情・笑顔から読み取っています。家族の訪問時や風呂場で聞く機会もあります。希望する生活は日課計画書に文章の色を変えるなどの目立つ記述をして注意しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に御本人の生活歴の情報を得ると共に、日々の会話の中で知ったこと等、申し送りや記録等で情報を共有し、サービスへつなげられるよう努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	会話や表情、毎日の観察、働きかけにより、変化を見逃さないようにし、新しい発見等を申し送りや記録等で職員が情報を共有するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>御本人や御家族から日々の暮らしへの要望を聞くと共に、職員より情報を得、より良い暮らしを送っていただけるよう介護計画を作成しています。</p>	<p>日々の活動からのケース記録や申し送りノートをもとに、職員会議で利用者個人別に情報交換して状況を把握、サービス計画書を作成します。長期目標は見やすく大きく掲げています。家族には返信用封筒をつけて送り、承諾を得ています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日のバイタルや、食事摂取量、排便状況、お過ごし仕方等記録に残し情報を共有する共に、会議の中で意見を出し合いながら、実践につなげています。</p>			
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>管理者はいつでも動ける状況に置き、そのとき必要なニーズに柔軟に対応できるよう体制をとり、支援に取り組んでいます。</p>			
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の美容院やお店を利用し、地域の中で生活していくことを大切にしながら、支援しています。</p>			
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>一人一人の希望に応じてかかりつけ医を決め、受診しています。緊急時にはかかりつけ医と連携しながら速やかな対応が取れるよう支援しています。</p>	<p>かかりつけ医は、入居前からの主治医のほか、ホームの内科訪問医がいます。整形外科や歯医者にも出かけていきます。受診状況は、日頃の健康状態を入れて、お便りで知らせています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員はいませんが、日々の健康観察を行い、受診時にかかりつけ医に報告すると共に、緊急時にはかかりつけ医に相談し、速やかに適切な医療を受けることができるよう支援しています。</p>			
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、職員が同行し、必要な情報をお渡しし、安心して入院治療できるよう支援しています。退院許可が出たときには速やかに受け入れができるよう、入院中はこまめに病院へ様子を伺うようにしています。</p>			
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化しつつある御利用者については、ホームで出来ることと出来ないことを説明し、御家族、主治医等と相談しながら方針を立て、職員でそのことを共有しながら支援しています。</p>	<p>重度化や終末期には、医療対応がないため、医師や家族さらに関係者との情報連絡を密にし、急変した時には契約した病院に搬送する事にしています。特に夜間が多いため、昼間からの準備と引き継ぎ、あわてない対応をすることにしています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時には管理者へすぐに連絡をとる体制をとり、指示に従い動けるようにしています。</p>			
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を重ねることで、問題点を把握し、十分な対策を考えていきたいと思えます。</p>	<p>消火・通報・避難訓練を実施しています。近くの消防団とも顔なじみの関係になるようにしています。避難経路図を掲示し、非常時の避難先は玄関としています。巡回時の自主点検も3回行っています。自動通報装置の設置する意向を持っています。</p>	<p>今年度は利用者の参加した訓練は1回であり、来年度から消防にも参加してもらい、夜間を想定した訓練も実施される事が期待されます。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御利用者の誇りを傷つけないよう、一人一人に合った言葉かけを心がけています。また、プライバシーを尊重した対応を心がけています。	否定的な言葉遣いをせず、利用者の動作は傍で手助けしています。利用契約書には、守秘義務、個人情報に関する基本方針、同意書、医療上の必要性あれば心身等の情報を提供することに同意しています。書類は事務室に保管しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境を作り、会話や表情から御本人の思いを汲み取り、意向に沿った暮らしをしていただけるよう支援しています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな一日の流れはあるが、その中で、御本人の意向に沿ったお過ごしができるよう支援しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御本人の好みを知り、お好きな服装、おしゃれをしていただけるよう支援しています。			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材を切ったり、味見をしていただいたり、盛り付け、食器拭き等一緒にしていただき、会話を楽しみながら感謝の気持ちを表しながら一緒に行っています。	居間の一角に台所があり、盛り付けや食器の整理の手伝いをしています。嗜好を聞いたり、味付けの意見を聞いたり、利用者一人ひとりの協力を得ています。料理の効能も分かるようになっていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立と食材を外部に委託し、カロリーと栄養のバランスのとれた食事の提供をしています。また、熱いものが好きな方、ぬるめが好きな方、盛り付け方の好み、咀嚼力等把握し、一人一人に応じた支援をしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の声かけを行い、介助の必要な方へは出来ないところを支援し、口腔ケアに努めています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>申し送りや、会議等で一人一人の排泄パターンを職員で共有し、オムツを使用している方も、排泄表をつけ、トイレに座っていただき、トイレでの排泄につながるよう支援しています。</p>	<p>排泄チェック表で各人のパターンを把握し、本人の希望や声掛けをして排泄支援をしています。まだ元気な利用者も多く、自立している利用者へも希望に添った配慮をしています。トイレを出てもすぐ入り直す利用者もあり、見守りに徹しています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日の散歩等の運動を心がけると共に、便秘がちな方へは、かかりつけ医と相談し、便秘薬の調整を行いながら便秘の予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>お風呂は午後毎日沸かし、早い時間の入浴を好む方、そうでない方、毎日入りたい方、そうでない方のタイミングをみながら個々にあわせて入浴していただいています。</p>	<p>毎日午後6~7人が入浴しています。前日体調不良などで入浴できなかった利用者を優先しています。自由な時間を希望する人には、早い時間に入浴するようにしています。入浴後、髪の手入れを行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	早く起きたい方、遅くまで寝ていたい方、早く休みたい方、遅くまで起きていたい方等一人一人の習慣を尊重しています。また、日中もお一人お一人の生活のペースに合わせて休息をとっていただけるよう支援しています。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更や追加があったときには申し送り、体調の変化を観察していくと共に、薬の目的・用法を理解し、管理・服薬の支援をし、体調観察に努めています。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テレビが好きな方、お話が好きな方、歌が好きな方、仕事が好きな方等、一人一人の出来ること、好きなことを把握し、一人一人の生活のペースで生活ができるよう支援しています。			
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	毎日の散歩や、御利用者の希望で近所の商店へ買い物に行ったり、ドライブへ行ったりと一人一人の希望に沿って外出できるよう支援に努めています。	天気が良ければ、体調を見ながら毎日のように5人程度が出かけています。車イスで出かける方もいます。近所の方と顔見知りになってきました。天気が悪い時は廊下を往復しています。名勝の称名寺には車で、出かけています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族の承諾のもと、御自分でお小遣いを持っていないと不安な方は御自分で持ってもらおうようにしています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>御希望のある方には、子機を使い御自分のお部屋でゆっくりと電話していただけるよう支援したり、携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいます。</p>			
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な家具を置き、ホッとできるような空間作りを心がけています。</p>	<p>リビングルームには、カレンダー、額に入った絵、時計などが置かれています。物干し場やプランターのある庭に出られます。廊下に手すりはありませんが、取り付ける計画があります。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングの一角にソファを置き、一人になりたいときや、他の人と離れていたいときなど過ごせる場を設けています。</p>			
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に今まで使い慣れたもの、こだわりを持っているものをお持ちいただくようお話ししています。</p>	<p>持ち込まれたタンス、写真、置物、テレビが置かれています。ベッドや防災カーテンは持ち込みで、家庭用ベッドの柵の配置にも配慮しています。足を下ろすと鳴るセンサーも活用されています。毎朝の掃除の後、窓を開けて換気しています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビングや廊下のカレンダーは、過ぎた日を消していき、今日が何日かわかるようにしたり、お部屋のドアにはそれぞれのお好きな目印を貼るなど工夫しています。</p>			

目標達成計画

作成日：平成 20 年 5 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議をいまだ開催できていない	運営推進会議を定期的で開催することで、地域やご家族との関係を深めるとともに、自分たちの仕事の意義・進むべき方向を理解・再確認していき、サービスの向上につなげる	地域の方やご家族に協力を得ながら、定期的に運営会議を開催できるよう努める	3ヶ月
2	5 7 13 34 35	大まかなマニュアルはあるが整備されていないため、職員の対応が統一されていないところがある	マニュアルを整備することで、安定したサービスの提供を目指すと共に、職員の資質向上へつなげていく	外部への研修参加や、内部での研修を行いながら、認知症の理解と対応方法、介護技術、身体拘束、緊急時の対応等のマニュアルを整備していく	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。